

実のならないいちじくの木

ルカによる福音 13:1-9

ちょうどそのとき、何人かの人に来て、ピラトがガリラヤ人の血を彼らのいけにえに混ぜたことをイエスに告げた。イエスはお答えになった。「そのガリラヤ人たちがそのような災難に遭ったのは、ほかのどのガリラヤ人よりも罪深い者だったからだと思うのか。決してそうではない。言うておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる。また、シロアムの塔が倒れて死んだあの十八人は、エルサレムに住んでいたほかのどの人々よりも、罪深い者だったと思うのか。決してそうではない。言うておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる。」

そして、イエスは次のたとえを話された。「ある人がぶどう園にいちじくの木を植えておき、実を探しに来たが見つからなかった。そこで、園丁に言った。『もう三年もの間、このいちじくの木に実を探しに来ているのに、見つけたためしがない。だから切り倒せ。なぜ、土地をふさがせておくのか。』園丁は答えた。『御主人様、今年もこのままにしておいてください。木の周りを掘って、肥やしをやってみます。そうすれば、来年は実がなるかもしれません。もしそれでもだめなら、切り倒してください。』」

説教

ルカ福音書の12章35節～13章9節は「回心のすすめ」シリーズです。いまが、今日が悔い改めて回心する時ですという呼びかけが続きます。きょうの聖書箇所はそのシリーズの最後にあたります。結論から言うとわたしはこの箇所が苦手です。

決してそうではない。言うておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる。3節
そうすれば、来年は実がなるかもしれません。もしそれでもだめなら、切り倒してください。9節
このようなことばを福音と受け止めることがどうにもできないのです。

北風と太陽が、どちらが強いかで言い争っていました。議論ばかりしていても決まらないので、それでは力試しをして旅人の着物を脱がせた方が勝ちと決めようという事になりました。北風が、始めにやりました。北風は思いきり強く、「ビューッ！」と、吹きつけました。旅人は震えあがって、着物をしっかり押さえました。そこで北風は、一段と力を入れて、ビュービューッ！と、吹きつけました。すると旅人は、「うーっ、寒い。これはたまらん。もう1枚着よう」と、今まで着ていた着物の上に、もう1枚重ねて着てしまいました。北風は、がっかりして、「きみにまかせるよ」と、太陽に言いました。太陽はまず始めに、ポカポカと暖かく照らしました。そして、旅人がさっき1枚よけいに着た上着を脱ぐのを見ると、今度はもっと暑い強い日差しを送りました。ジリジリと照りつける暑さに、旅人はたまらなくなつて着物を全部脱ぎ捨てると、近くの川へ水浴びに行きました。

旅人のコートを脱がすのに強い北風は逆効果です。意地を張ってますますコートをつかんでしまいます。あたたかい太陽は旅人の心に届きます。そして心を変えていきます。

福音とはけっして北風ではなく太陽のようなものだと思いたいのは私だけでしょうか。

ピラトの悪行、シロアムの塔の崩壊事故、これは事実であったとしてもルカの福音書をはじめて聞いた人たちにもこの事件は風化していたのではないのでしょうか？あるいは今のわたしたちのようにはじめて聞く話かもしれません。これらの恐ろしい出来事はけっして他人事ではない、罪を悔い改めないものはみんなこうなる。実のならないいちじくは悪い木だ。切り倒してしまえ。いえいえそれはなりません、わたしが世話をするからあと一年様子を見てください。それでもだめなら切り倒してください。

きょうの福音は前半と後半はちょっとニュアンスが違ってきます。三年前の

説教でわたしは磔刑に処せられたイエスをこの切り倒されるいちじくの木に重ねて思いをめぐらせましょう、という話をしました。それは心からの回心をしない、本当のところは望まないのがわたしたちだ、そしてそのわたしたちも身代わりとしてイエスは十字架にかかった、だからわたしたちはもっと自省をしましょうというひねった説教をしたかったからです。いま思うとちょっと飛躍しすぎているとおもいます。やはりたとえの解釈としては主人が神、園丁がイエスという伝統的な解釈のほうが自然です。残念ながらこの解釈では実のならないいちじくの木は回心しない民=わたしたちということになります。

マリアさまならこのみことばをそっと心にとどめておくのだろうなあ、と自分を慰めようと思います。私はあと何回このみことばを聴くことができるのかはわかりませんが、いつかは北風のようなことばとしてではなく、太陽のようなことばとしてこの福音を聞くことができるように願い祈ります。

わたしたちは実をつけないいちじくの木ですが、それでも神はよきはからいをしてくださる、イエス様はわたしたちをとりなしてくださることを信じましょう。
